

平成 30 年 度
公益財団法人大田区産業振興協会
事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日



公益財団法人大田区産業振興協会

平成 30 年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

平成 30 年度 総 括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業(定款第 4 条(1)関係)・・・	2
2 区内中小企業者の経営支援に関する事業(定款第 4 条(2)関係)・・・	3
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業(定款第 4 条(3)関係)・・・	9
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業(定款第 4 条(4)関係)・・・	15
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業(定款第 4 条(5)関係)・・・	17
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業(定款第 4 条(6)関係)・・・	22
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から受託する 事業(定款第 4 条(7)関係)・・・	24
平成 30 年度 産業プラザ施設利用状況<別表 A>・・・	27
施設利用収入状況<別表 B>・・・	27
内職あっせん・相談事業<別表 C>・・・	28
理事会・評議員会	28
協会組織強化	29

平成 30 年度 総 括

平成 30 年度の我が国の経済は、緩やかな景気回復傾向が続き、中小企業の業況は総じて改善傾向にある。経常利益は高い水準で推移し、倒産件数も減少の傾向が続いている。

他方で、区内中小企業は次のような課題に直面している。

第一に人手不足と労働生産性の伸び悩みである。生産年齢人口の減少と少子高齢化などの 2025 年問題といわれる人口構造の変化は、中小企業における人材不足感が強まっている。そのような中、IT 投資、設備投資、業務の見直しが急務であるが、大企業との生産性格差は拡大している。

第二に経営者の高齢化による事業承継問題である。区内でも、後継者に事業の引継ぎはせず、自らの代で業務を終了するケースが多くみられる。

平成 30 年度をもって区の計画である「おおた未来プラン 10 年（後期）」が、期間満了する。その中で、重点的に取り組む事業を集約した「大田区実施計画」（平成 29～31 年度）が協会事業の指針の一つとなっている。協会は、大田区産業経済部との連携を強化し目標達成に向け、確実に施策を推進するとともに、2020 年に一部概成する羽田空港跡地について区政の方向性と連動する事業を実施した極めて重要な年となった。

区からの受託事業である「戦略的産業クラスター形成パイロット事業」は、羽田空港跡地第 1 ゾーンの開発で展開される先端産業分野である「モビリティ」「ライフサイエンス・ヘルスケア」「ロボティクス」の 3 分野に関わる 6 事業プロジェクトを実施した。60 以上の企業や大学の参画を受け、試行的ではあるが産業クラスター形成に結び付き、先端産業への対応力を発信することができた。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みとして、障がい者スポーツ用具（車いすバスケットボール用車いす他）の開発も、産業クラスター形成事業の一環として取り組んできた。産業クラスター形成は、大田区全域の地域産業競争力を強化するとともに、羽田空港跡地開発との有機的な連携を生み出し、国内外からの受注獲得、イノベーション創出につながる事業として注力した。

人材育成、事業承継の視点では、「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業を実施している。「技能振興・技能者育成」に資する取組みとして、厚生労働省の「地域発！いいもの」に選定されるなど高い評価を得た。

大田のお土産 100 選は、累計で 79 件を選定し、電鉄事業者と連携した PR、展示会や販売会など 9 つの催事に出展した PR などの広報活動に努めた。お土産 100 選事業を通じて、区内の商い・ものづくりの製品を広くプロモーションしたことで、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催年への波及効果の礎を打ち出すことができた。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条(1)関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・協会 Web サイトのスマホ化対応を行い、協会事業利用者の利便性向上を図った。
- ・協会 Web サイトで「町工場における人材採用の最前線」や「町工場における事業継承」など、中小企業にとっての喫緊の課題に対する取り組み事例を紹介し、企業経営の参考に資した。
- ・奇数月、年6回、「テクノプラザ」を発行し、取引拡大、人材確保等の先行事例等、大田区企業に必要な情報をタイムリーに発信した。
- ・区内産業の効果的なプロモーションのため、大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産 100 選」表彰商品・製品を、ホームページ等を通じて広く周知した。
- ・大田区の景況調査では、新設法人件数調査を新規に開始し、データの充実を図った。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 (補助) 482,000 円】 【決算額 (補助) 43,731 円】

(ア) 総合事業案内冊子 (ポケット付きカバー及び協会組織図) の配布

(イ) 産業情報冊子 (大田区工業ガイド) の配布 (日本語版・英語版・中国語版)

工場見学・視察対応及び協会窓口等で随時配布

大田区工業ガイド (日本語版・英語版・中国語版) の Web ページ制作 (Web 化)

(ウ) 視察対応

国内	7 団体	103 人
海外	5 団体	69 人

② 大田ブランド発信事業

【予算額 (自主) 205,000 円】 【決算額 (自主) 0 円】

協会 Web サイトにおいて、区内中小企業等のブランド力維持・向上に資する先進的な取り組みを特集する記事や、協会事業の効果的な活用事例の紹介等を月に一度発信した。

4 月	町工場における人材採用の最前線	10 月	羽田空港跡地開発と戦略的産業クラスター形成パイロット事業について
5 月	3Dプリンターの可能性	11 月	次世代ものづくり人材育成の現状
6 月	車いすバスケットボール用の車いす開発で大田区企業の開発力を発揮	12 月	町工場における事業継承
7 月	ワンコインで福利厚生！大田区勤労共済をご利用ください	1 月	「専門家に無料相談！」～ビジネスサポートが経営のお悩みお助けします！～
8 月	「外国人技能実習制度」の活用について	2 月	「優工場」認定企業間によるネットワーク構築
9 月	大田区における技術・技能継承	3 月	「大田のお土産 100 選」表彰年度 最終年度を迎えるにあたり

③ 産業情報誌の発行

【予算額 (補助) 4,791,000 円】 【決算額 (補助) 3,469,707 円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために隔月 (奇数月) 情報誌を発行。

「テクノプラザ」	A4 判 各号 4,600 部	年 6 回発行 (5・7・9・11・1・3 月号)
----------	-----------------	---------------------------

④ 産業情報受発信事業

【予算額 (補助) 12,973,000 円】 【決算額 (補助) 10,548,023 円】

(ア) 産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入：100冊 ・寄贈：186冊 ・新聞購入：4紙

(イ) 区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者の紹介動画（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産100選」表彰製品・商品（事業者）等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

(ウ) 協会ホームページによる情報発信

・随時発信（<http://www.pio-ota.jp/>）
・年間アクセス件数：803,090件
・年間閲覧ページ数（PV）：2,824,884件
※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ（貸館予約）」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム（mirai）」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。

⑤ 調査・研究

【予算額（補助）8,247,000円（自主）200,000円（合計）8,447,000円】

【決算額（補助）7,460,972円（自主）0円（合計）7,460,972円】

(ア) 景気動向調査

区内中小企業が事業展開等を検討する上で有用な情報を収集・調査し、発信（年4回）。特別企画として、平成29年の休廃業・解散、新設法人の件数等のデータを掲載した。

対象時期等	特別調査（テーマ）等
第1回（平成30年1から3月期）	平成30年度の経営見通し
第2回（平成30年4から6月期）	中小企業における商品・サービスに関する取組み
第3回（平成30年7から9月期）	中小企業の人材確保及び事業承継について
第4回（平成30年10から12月期）	取引先（仕入先、販売先）及び連携事業について

(イ) 事業戦略調査・研究

区から受託した「戦略的産業クラスター形成パイロット事業」や「受発注主体構築等検証調査」に係る業務に必要な調査・研究を行うことで、事業の実施をコーディネートした。（受託事業：実績等はP.26）

2 区内中小企業の経営支援に関する事業

【定款第4条（2）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・昨年度5月に開設した「イノベーション創出担当相談室」の相談件数は今年度985件（昨年度688件）と増え、区内企業の研究開発や大田区での創業の重要な相談窓口の一つになった。
- ・ビジネスプランコンテストは、大田区での事業展開要件を重点に置き実施、ソーシャルビジネスプランとものづくり系プラン、共に応募が多く採択することができた。
- ・各種創業促進セミナーは、企業PR力の向上など創業期に求められるスキル向上を重点に置いて開催した。
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業が、「技能振興」、「技能者育成」に資する取組みとして、厚生労働省の「地域発！いいもの」に選定された。
- ・今年度、9社を優工場として認定した。歴代の認定企業が連携して仲間回しや工場見学など地域産業の発展に資する自主的な活動につながっており、具体的な活動として充実してきた。
- ・「大田のお土産100選」は、累計で79件を選定した。広報活動にも注力し、展示会や販売会など9つの催事に出席し、PRを積極的に展開した。

① 中小企業情報化支援

【予算額 (補助) 4,327,000 円 (自主) 1,968,000 円 (合計) 6,295,000 円】

【決算額 (補助) 4,268,262 円 (自主) 1,568,157 円 (合計) 5,836,419 円】

ホームページ・PRツール作成支援サービス	相談件数 延べ 356 件
PiOデザイン工房 (毎週火・水・金曜日実施) 利用件数	新規利用者数 23 社

② ビジネスサポートサービス

【予算額 (補助) 14,404,000 円 (自主) 60,000 円 (合計) 14,464,000 円】

【決算額 (補助) 5,886,832 円 (自主) 12,000 円 (合計) 5,898,832 円】

(ア) ビジネスサポート相談 (専門家派遣)

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術や生産性の向上、事業継承などの様々な課題解決のため、専門家 (支援協力者) 等の派遣するなどして相談事業を実施した。

専門家派遣回数 (内、事業継承案件)	346 回 (3 回)	支援協力者 登録数	108 名 (3 名)
大田の工匠派遣	2 回	工匠登録者数	29 名
特許相談	62 件	対応専門家	2 名

※毎週水曜日 10:30~16:00 3 区分で PiO を相談窓口として実施

(イ) 経営サポートセミナー

実施日	テーマ等	参加者数	成果
平成 31 年 2 月 13 日	「求職者への魅力発信セミナー」 講師：株式会社学情 パブリックサービス事業部 添田 健吾 氏	17 人	満足度 (アンケート) 88%

(ウ) 各種許認可等取得支援助成金の交付

許認可等の種類	助成金交付企業数
IS09001	3 社

③ 繁盛店創出事業

【予算額 (補助) 17,988,000 円】 【決算額 (補助) 15,518,970 円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、店舗経営の専門家による経営相談及び改善提案を行うほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

相談及び提案件数	店舗改善費用助成件数
47 件	29 件

(イ) 商業情報誌の発行

「あき now」発行	A4 判 年 2 回 (各回 9,000 部)	商店 (個店) 向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布した。
------------	----------------------------	---------------------------------------

(ウ) 商い経営事例研究会・空き店舗現地視察会

大田区個店・空き店舗視察&勉強会

実施日	内容	参加者	満足度
平成 31 年 3 月 4 日	①区内の個店 2 店舗見学 ・フラワーショップニコ（大田区池上 3-30-9） ・ピッツェリア ダ グランツァ（大田区上池台 2-37-6） ②石川台希望が丘商店街見学 ③勉強会 会場：大田区産業プラザ(Pi0)2 階 biz BEACH 講師：中小企業診断士 専田 政樹 氏	14 人	(アンケート) 88.5%

(エ) 商店街空き店舗マッチング事業

空き店舗相談

相談・情報提供件数	6 件
-----------	-----

④ 創業者支援事業

【予算額（補助）13,357,000 円（自主）150,000 円（合計）13,507,000 円】

【決算額（補助）12,402,031 円（自主）164,760 円（合計）12,566,791 円】

(ア) 創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	相談件数 延べ 503 件
------------	---------------

(イ) ビジネスプランコンテスト

ビジネスプランコンテスト		表彰 9 件（申込件数 38 件）	
表彰名	プラン名	表彰企業	
最優秀賞	囲碁から始まる、大田区魅力発信事業 ～アンバサダー作り～	野田 麻由	
大田区長賞	災害時に聴覚障害者の逃げ遅れを防ぐ ウェアラブルデバイス情報提供サービス	みみなび	
協賛 先特 別賞	さわやか信用金庫賞	災害時に聴覚障害者の逃げ遅れを防ぐ ウェアラブルデバイス情報提供サービス	
	日本工学院賞	モバイルバッテリーシェアリング	
	よい仕事おこし賞 (城南信用金庫)	磁場環境用モータを活用したMRI内で 利用可能な点滴装置の開発	
	共立信用組合 心のふれあい賞	魔法学校	
	芝信用金庫賞	囲碁から始まる、大田区魅力発信事業 ～アンバサダー作り～	
	川崎信用金庫賞	バルーン（風船）で人と人をつなげよう！ MARQUEES	
	第一勸信賞	「発達障がい者の個性が発揮され楽しく 働ける宿泊施設」の開発・運営	
		株式会社 The Guest House Japan	

(ウ) 区内創業を促進するセミナー等の実施

(a) 創業塾

コース及び実施日	テーマ等	参加者数
創業マインド向上セミナー 平成 30 年 8 月 8 日	「創業ってなに？」 講師：山川 茂宏 氏、秋葉 雄大 氏、檜山 敦子 氏	25 人

第1回： 平成30年8月22日	「まずは事業計画」 講師：小島 洋介氏、山川 茂宏氏、鈴木 祐一郎氏	33人
第2回： 平成30年9月5日	「お客様を探す」 講師：三瀬 隆氏、片岡 由美氏	31人
第3回： 平成30年10月10日	「お金のはなし」 講師：梅澤 尚稔氏、米山 淳子氏	30人
第4回： 平成30年10月24日	「人材のはなし」 講師：宗像 令夫氏、山川 茂宏氏	27人
第5回： 平成30年11月7日	「さあ、開業だ」 講師：田口 智章氏、辰野 博一氏	26人
第6回： 平成30年11月21日	「まとめ」 講師：山川 茂宏氏	27人

(b) 「創業テイク・オフ ワークショップ」

実施日	テーマ等	参加者数	成果
平成30年9月18日	「商品やサービスをよりよく魅せる！ アピール力底上げ実践ワークショップ」 講師：ハンズオンビジネスサポート研究所 岩瀬 敦智氏、小室 梨佳氏、相田 悟氏	10人	満足度 (アンケート) 100%

(c) 「ハードウェアスタートアップ」セミナー

実施日	テーマ等	参加者数	成果
平成30年9月12日	「HWスタートアップの現状と新規製品開発」 講師：株式会社タイセイ 岩城 良和氏	13人	満足度 (アンケート) 90%
平成30年12月3日	「プログラミングなしでアプリを開発！ ～自動電話応対を作ってみる～」 講師：株式会社dott 代表取締役 浅井 渉氏	6人	満足度 (アンケート) 100%

⑤ 工場表彰制度

【予算額 (補助) 3,274,000円 (自主) 120,000円 (合計) 3,394,000円】

【決算額 (補助) 2,927,059円 (自主) 104,355円 (合計) 3,031,414円】

認定	認定9工場、うち表彰3工場 ① 総合部門賞：3社 ・株式会社マテリアル、株式会社クライム・ワークス、株式会社信栄テクノ ② 人に優しい部門賞：1社 ・株式会社クライム・ワークス ③ まちに優しい部門賞：1社 ・株式会社マテリアル ④ 認定工場：6社 ・株式会社イソダメタル、株式会社植木製作所、山王鐵工株式会社、株式会社西尾硝子鏡工業所、富士セイラ株式会社、睦化工株式会社
累計	255社 (平成31年3月末現在)
表彰	平成31年1月31日「第23回おおた工業フェア」にて認定・表彰
成果	平成29年度認定8社にアンケートを実施、「満足度100%」
申込企業	9社
実地調査	平成30年9月5日～7日
審査会	平成30年10月22日

※ 優工場認定企業間のネットワーク構築に向け、以下の認定企業の自立プロジェクト活動を支援した。

●プロジェクト会議（6回）

回	日付・ 参加「優工場」認定企業	検討内容等
第5回	平成30年5月16日 5社参加	第3回工場見学ツアー及び交流会の実施について検討。
第6回	平成30年7月4日 6社参加	「優工場」認定企業同士の意見交換会実施について検討
第7回	平成30年8月29日 7社参加	認定企業同士の仲間回しや工場見学促進のため、同意する企業リストの作成と登録企業の交流会開催を決定。 178社中115社がリスト加入。
第8回	平成30年10月31日 6社参加	登録企業交流会の打合せを実施。リストの活用法をグループディスカッションのテーマとして設定。
第9回	平成31年1月16日 6社参加	第3回交流会アンケートにおいて、各社の課題で一番多かった「人材確保・育成」を今後のプロジェクトの方針とし、交流会を開催することを決定。
第10回	平成31年2月18日 7社参加	第4回交流会に向けて事前打合せを実施。人材確保の取組等を情報共有し、交流会当日の流れについて確認した。

●意見交換会（1回）「（仮称）優工場認定企業間 仲間回しの構築について」

第1回	平成30年7月30日 14社参加	「優工場」認定企業同士の連携（仲間回し）のため、認定企業リストの作成やFacebookの活用等の意見が提案された。
-----	---------------------	---

●工場見学ツアー（2回）

第2回	平成30年4月13日 7社参加	4社の工場見学ツアーを実施
第3回	平成30年6月12日 6社参加	3社の工場見学ツアーを実施

●「優工場」交流会（2回）

第3回	平成30年11月14日 25社参加	リストの活用法についてグループディスカッションを行った。 リストの機能拡充等の意見があがった。
第4回	平成31年3月13日 20社参加	各社の人材確保の取組についてグループディスカッションを行い、「3Dプリンターと大田区ものづくり企業の親和性」について講演会を実施した。

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額（補助）4,639,000円】 【決算額（補助）3,971,885円】

表彰	①総合部門 5店舗 ・日本料理衛藤、Gemelli、ピッツェリアダグランツァ、ピッレリアルッポロ、天仲 ②こだわり部門 5店舗 ・呑蒲、たこふじ、FUKUTARO CAFÉ & STORE、インディアン、旬彩居酒屋 大河
表彰式	平成30年10月20日「おおた商い(AKINAI)・観光展2018」にて表彰
成果	表彰店舗にアンケートを実施、「満足度90%」
申込店舗	34店舗
実地調査	平成30年6月から7月
審査会	平成30年8月2日

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業 大田の工匠 技術・技能継承

【予算額 (補助) 5,319,000 円】 【決算額 (補助) 4,266,033 円】

平成 29 年度受賞企業表彰式	平成 30 年 7 月 6 日「第 11 回大田区加工技術展示商談会」にて 6 社 (6 組) 表彰
大田の工匠 技術・技能展 2018	平成 30 年 7 月 25 日から 7 月 31 日、延べ 7 日間、 グランデュオ蒲田 3 階東西連絡通路、来場者数 24,664 人
平成 30 年度の募集及び 調査・審査	平成 30 年 9 月 3 日から 10 月 31 日 (応募企業数) 6 社 (6 組) (実地調査) 12 月 4 日、5 日、6 日、計 3 日間 (審査会) 2 月 5 日、6 社 (6 名) を選定

⑧ 大田のお土産 100 選 表彰事業

【予算額 (補助) 10,196,000 円】 【決算額 (補助) 9,165,232 円】

表彰製品・商品 (事業者)	27 件 (ものづくり部門 10 件、食品部門 17 件)
3 賞 5 点	最優秀賞：貴客上餅 (穂寿庵 有限会社高橋総合食品本舗) 優 秀 賞：大田精密バイス (株式会社エース) 奨 励 賞：黒湯ビール (羽田バル 有限会社大鵬) 奨 励 賞：一枚餃・ぐいのみ+かたくち S E T (株式会社高桑製作所) 奨 励 賞：本場大森乾海苔 頂 (株式会社守半總本舗)
表 彰	平成 30 年 10 月 20 日「おおた商い (AKINAI) ・観光展 2018」にて表彰
展 示 ・ 販 売	①東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」(9 月 15 日～9 月 17 日) 出展販売 5 事業者、納品販売 6 事業者、ワークショップ 1 事業者 ②グランデュオ蒲田「大田のお土産 100 選」販売会 (9 月 22 日～9 月 24 日) 納品販売 19 事業者 ③国際都市おおたフェスティバル in「空の日」羽田 (9 月 29 日 羽田空港旧 整備地区) 出展販売 5 事業者 ④おおた商い観光展 2018 「大田のお土産 100 選」即売会 (10 月 20 日) 表彰式後に開催、平成 30 年度 17 事業者出展 ⑤大田区観光情報センター展示販売 (10 月 20 日～10 月 31 日) 平成 30 年度の 16 表彰製品・商品を展示販売 ⑥OTA ふれあいフェスタ (11 月 3 日、11 月 4 日 平和島[水のエリア]にて) 平成 30 年度表彰 8 事業者が出展 ⑦大田のお土産 100 選フェア in マチノマ大森 (11 月 16 日～11 月 18 日) 出展 6 事業者、ワークショップ 3 事業者出展 ⑧大田区×鹿児島物産展 どんどん市 in 池上本門寺 (11 月 23 日、24 日) 17 表彰製品・商品が納品販売方式で出展 ⑨インバウンド&全国逸品商談会 (3 月 19 日、20 日) 城南信用金庫主催、3 事業者出展
広報活動	①公共交通機関への広告展開 ・京急電鉄 13 駅にて駅貼り広告：10 月 31 日～11 月 28 日 ・東急電鉄大田区内主要駅にてパンフレット設置：10 月 24 日～ ・京急品川駅高輪口ロングボード、京急主要 8 駅にて駅貼り広告： 11 月 12 日～11 月 18 日 ・東急池上・多摩川線・東急バス車内広告：11 月 16 日～1 月 15 日 ・表彰事業者最寄り駅にて駅貼り広告 12 月 3 日～12 月 9 日

	②平成 28、29、30 年度総合版パンフレット 5,000 部制作 ③ J:COM大田「おおた de 歩っと」放映 (2 月中) ④その他の広報活動 プレスリリース、表彰製品・商品紹介パンフレット制作 (10,000 部)、 テクノプラザ掲載 (11 月号)、デジタルサイネージ放映 (11 月)、特設 Web ページ (日本語版・英語版・中国語版)、東京都理容生活衛生同業組 合大田支部にパンフレット配布、区設掲示板掲出 (12 月 11 日～24 日)、 SALUS に広告掲載 (2 月号)、大田区産業振興協会 Web サイト特集記事掲載
成 果	平成 30 年度表彰事業者のアンケート 満足度成果目標 80%に対し、89% (大変満足 37% 満足 52%) 達成
応募事業者	38 件 (ものづくり部門 16 件、食品部門 22 件)

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第 4 条 (3) 関係】

〔重点取組み事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年 1 回 (10 月) 参加企業 269 社 (発注企業 91 社、受注企業 178 社) 規模で開催。事前マッチング制が定着し、区内中小企業に対し確度の高い商談機会を提供 (776 件) した。また、高付加価値の開発案件に特化した取り組みとして「ニーズプル型商談会」を開催。大手企業と区内中小企業との商談を 14 件創出した。更に、現場のニーズを直接確認するため、年度内に区内企業 2,989 社を訪問し、取引拡大に向けたサポートを強化した。
- ・海外取引相談では、海外駐在員等に直接届けられるビジネス誌に海外展開を積極的に行う区内企業の取材記事を主体とした広告を掲載した。また、本年度は、これから海外取引を目指す企業向けに貿易実務基礎編の他、世界情勢を把握しビジネスに活かすための中国セミナーなどを開催した。
- ・商業分野の事業では、「おおた商い (AKINAI)・観光展 2018」において、大田区商店街連合会の「どんと来い！幕末・明治プロジェクト」に関連して、勝海舟ゆかりの洗足池周辺の調布地域・池上エリアの商店及び観光名所を紹介し、商いと観光を融合させた展示・PR を行った。また、「面的広がり」を深める取組みとして、5 つの会場をつなぐウォーキングラリーを実施し、地域イベントの連携を進めた。

① 受・発注相談

【予算額 (補助) 35,004,000 円 (自主) 728,000 円 (合計) 35,732,000 円】

【決算額 (補助) 31,501,662 円 (自主) 512,053 円 (合計) 32,013,715 円】

(ア) 相談業務 (工業)

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
231 件	受注	発注	コーディネーター：561 件
125,137 千円	7 件	875 件	シルバー人材委託：2,428 件

※ (公財) 東京都中小企業振興公社への企業登録 区内登録数 (平成 31 年 3 月末) 2,844 社

(イ) 発注開拓 (工業)

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	162 件
活動成果	成約案件：37 件 成約金額：236,499 千円

(ウ) 受・発注商談会

(a) ものづくり受発注商談会

	実施日	参加企業	発注・受注	商談件数
第1回	第57回ものづくり受発注商談会 in 大田 平成30年10月12日	269社	91社・178社	776件

(エ) ニーズプル型商談会

開催日	参加企業数	商談件数	商談継続件数
平成30年7月13日	9社	10件	10件
平成30年12月4日	3社	4件	4件

② 海外取引相談

【予算額（補助）14,852,000円】 【決算額（補助）13,330,431円】

(ア) 海外取引相談

(a) 相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中国	167件	北米	31件
ASEAN	80件	その他	64件
欧州	177件	合計	519件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

相手先	件数	相手先	件数
韓国	0件	ASEAN	10件
中国・香港	27件	欧州	45件
北米	9件	その他	2件
台湾	22件	合計	115件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	期内成約案件件数	取引成約金額
43件	4件	318,600千円

(イ) 海外市場開拓

(a) 市場開拓（商談会）

実施日	国	参加企業	商談件数	可能性高
平成30年10月11日	中国・台湾	2社	9件	2件
平成30年11月21日	タイ	5社	15件	9件

(b) その他市場開拓

日程	調査先
平成31年2月17日～21日	スイス市場開拓 区内企業4社と訪問
平成31年3月28日、29日	米国市場開拓 区内企業2社と訪問

(ウ) 海外取引セミナー及び海外市場勉強会

実施日	テーマ及び講師	参加人数
平成30年7月24日	「貿易業務・輸出業務の流れ（初級編）」 講師：センコーグループホールディングス株式会社 部長 飯塚 真人 氏、課長 原 淳 氏	45人

平成 30 年 9 月 21 日	「東京税関関係施設視察会」 会場：TOKYO ミナトリエ、青海公共バース、東京税関本関、お台場ライナーふ頭・物流施設、山九株式会社	21 人
平成 30 年 12 月 7 日	「ドイツ NRW 州の投資環境と市場について」 講師：株式会社エヌ・アール・ダブリュージャパン 代表取締役社長 ゲオルグ・ロエル 氏	21 人
平成 31 年 2 月 21 日	「2019 年 中国の情勢と経済動向」 講師：株式会社富士通総研経済研究所 主席研究員 金 堅敏 氏	50 人

欧州市場勉強会（4回）

実施日	テーマ及び講師	参加人数
平成 30 年 4 月 17 日	「欧州経済の概要（Brexitの影響）」 講師：日欧産業協力センター コーディネーター 三田 典子氏	11 人
平成 30 年 7 月 11 日	「欧州展開に向けたトルコの活用方法」 講師：株式会社カラ・コンサルティング 代表 カラ・マタカン氏	8 人
平成 30 年 12 月 11 日	「対日投資企業の動向」 講師：JETRO 対日投資部主査 岩田 知統 氏	6 人
平成 31 年 3 月 27 日	「フィンランドの市場性と投資環境」 講師：フィンランド大使館 商務部上席商務官 渥美 英司 氏 「スイス出張報告」 協会 欧米市場開拓員 原 圭介	17 人

(エ) 外国語文書翻訳

文書翻訳サービス	36 件
----------	------

(オ) 広告媒体の利用

(a) 英文企業ガイドの活用

平成 29 年度に刷新した英文企業ガイド（126 社掲載）を活用し、海外出張時及び海外からの来客時に区内産業を PR した。協会ホームページ上でも Web カタログ版を公開中。

<https://www.pio-ota.jp/overseas-expansion/company-finder.html>

(b) e コマースの活用

海外駐在員や国際部門の担当者に直接届けられる「カンパサール」というビジネス誌に、協会事業の紹介と区内中小企業 2 社の技術に関する記事広告を掲載した。

③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額（補助）11,150,000 円（自主）1,728,000 円（合計）12,878,000 円】

【決算額（補助）9,689,121 円（自主）1,728,000 円（合計）11,417,121 円】

開催日	参加社	来場者	商談件数	取引成立金額
平成 30 年 7 月 6 日	100 社	1,627 人	1,333 件	15,450 千円

④ 国内見本市への出展支援

【予算額（補助）18,595,000 円】 【決算額（補助）16,742,955 円】

(ア) 大田区ものづくり産業PR展示会

展示会名	会期及び会場	成果
第 9 回試作市場 2018	平成 30 年 5 月 10 日から 11 日 大田区産業プラザ Pi0	相談件数 65 件 成約件数 7 件
人とくるまのテクノロジー展 2018	平成 30 年 5 月 23 日から 25 日 パシフィコ横浜	相談件数 78 件 成約件数 5 件
第 22 回機械要素技術展	平成 30 年 6 月 20 日から 22 日 東京ビッグサイト	相談件数 72 件 成約件数 7 件

北洋銀行ものづくりテクノフェア 2018	平成 30 年 7 月 26 日 アクセスサッポロ	相談件数 5 件 成約件数 2 件
2018” よい仕事おこし” フェア	平成 30 年 9 月 19 日から 20 日 東京国際フォーラム	相談件数 10 件 成約件数 1 件
第 14 回ビジネスフェア	平成 30 年 10 月 5 日 大田区産業プラザ PiO	相談件数 5 件 成約件数 0 件

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8 社

展示会名	会期及び会場	成 果
第 4 回先端デジタルテクノロジー展	平成 30 年 4 月 4 日から 6 日 東京ビッグサイト	商談件数 16 件 継続案件 5 件 成約件数 6 件 成約金額 900 千円
Interior Lifestyle Tokyo / インテリア ライフスタイル	平成 30 年 5 月 30 日から 6 月 1 日 東京ビッグサイト	商談件数 14 件 継続案件 0 件 成約件数 0 件 成約金額 0 千円
第 22 回機械要素技術展	平成 30 年 6 月 20 日から 22 日 東京ビッグサイト	商談件数 14 件 継続案件 0 件 成約件数 1 件 成約金額 67 千円
第 9 回ヘルスケア・医療機器 開発展 (MEDIX)	平成 30 年 6 月 20 日から 22 日 東京ビッグサイト	商談件数 12 件 継続案件 3 件 成約件数 0 件 成約金額 0 千円
第 31 回インターフェックス ジャパン	平成 30 年 6 月 27 日から 29 日 東京ビッグサイト	商談件数 43 件 継続案件 5 件 成約件数 1 件 成約金額 780 千円
第 9 回国際テーブル&キッチンウェア EXPO 【夏】	平成 30 年 7 月 4 日から 6 日 東京ビッグサイト	商談件数 30 件 継続案件 1 件 成約件数 4 件 成約金額 885 千円
第 13 回国際物流総合展 2018	平成 30 年 9 月 11 日から 14 日 東京ビッグサイト	商談件数 100 件 継続案件 5 件 成約件数 1 件 成約金額 10 千円

(ウ) 国内見本市出展助成

回	採択件数	出展企業	成 果	満足度
第 1 回	35 件	34 社	商談件数 3,966 件、継続案件 700 件 成約件数 230 件、成約金額 46,296 千円	(アンケート) 88%

※成約件数及び成約金額については 3 月末時点。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額 (補助) 9,662,000 円 (自主) 1,030,000 円 (合計) 10,692,000 円】

【決算額 (補助) 7,900,044 円 (自主) 601,068 円 (合計) 8,501,112 円】

(ア) 共同出展

展示会名	会期及び会場	成 果	参加企業
AUTOMATICA 2018 (ドイツ)	平成 30 年 6 月 19 日から 22 日 メッセ・ミュンヘン	商談件数 55 件 成約件数 1 件 継続案件 9 件	3 社
FBC 上海 2018 ものづくり商談会	平成 30 年 11 月 18 日から 22 日 上海国家会展中心	商談件数 63 件 成約件数 0 件 継続案件 34 件	3 社

(イ) 海外見本市出展費用助成 (単独出展：自由選択制)

	採択件数	出展企業	成 果
第 1 回	7 件	7 社	商談件数 260 件 継続案件 103 件 成約件数 11 件 成約金額 7,989 千円
第 2 回	2 件	2 社	商談件数 107 件 継続案件 33 件 成約案件 0 件 成約金額 0 千円
第 3 回	1 件	1 社	商談件数 12 件 継続案件 8 件 成約件数 0 件 成約金額 0 千円

※成約件数及び成約金額については 3 月末時点。

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額（補助）26,584,000円（自主）6,092,000円（合計）32,676,000円】

【決算額（補助）26,474,204円（自主）5,822,400円（合計）32,296,604円】

（ア）「おおた商い(AKINAI)・観光展 2018」

～来て見て感じて“おおた”の心（おもてなし）～

会 期		出展者数	入場者数
平成30年10月20日から21日 2日間		130社（団体）	11,265人
概 要	コンセプト	大田区の観光産業及び区内商店、商品を紹介。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて区の観光資源を見直し、発見や商業力向上を推し進めていく場として開催。今回は、実店舗への来店促進、観光と商いの融合をコンセプトの柱とし、会場内に大田区や大田区商店街連合会などが主催する「どんと来い！幕末・明治プロジェクト」関連の特別テーマ展示コーナーを設置。勝海舟ゆかりの洗足池周辺の調布地域及び池上周辺エリアの商店及び観光名所を紹介した。また、「面的な広がり」を継続し、蒲田地域の同時開催イベントである「友好都市 ふれあいひろば」、「さかさ川通り おいしい収穫祭」、「第6回蒲田映画祭」、「第38回大田区しょうがい者の日のつどい」と相互連携を図った。	
	出展内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「自慢の味覚コーナー」「特別テーマ展示・販売コーナー」「生活・おしゃれコーナー」「匠の技コーナー」「にぎわいコーナー」「大田のお土産100選コーナー」「がんばれ東日本応援コーナー」「ふるさとの味覚コーナー」「大田区商店街連合会」「屋外テント」「OTA観光まちづくり×まちめぐりコーナー」のエリアに分け、名品や伝統工芸、現代の匠の技等、大田区の魅力を広く紹介。 ・東日本大震災で被災した、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県の「自然の恵み豊かな食品」などの展示即売を実施。 	
	集客	・「面的広がり」連携イベントの5つの会場をつなぐウォーキングラリーの実施	
	売 会 期 後 上 増 策 の 策	<ul style="list-style-type: none"> ・出展者に「『もっと！』な小間づくり」セミナーを開催 平成30年9月5日 講師 青山 由美子氏（41人） ・マーケティング実践、創業体験を目的に販売戦略策定セミナーを3回開催 講師：高田 泰弘氏 第1回7月26日（12人） 第2回8月23日（12人） 第3回11月6日（6人） 	
20日	表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおたの逸品」（大田区商店街連合会） ・「OTA！いちおしグルメ」（公益財団法人大田区産業振興協会） ・「大田のお土産100選」（公益財団法人大田区産業振興協会） 	
	シネパラ蒲田 ～第6回蒲田映画祭～	映画上映&トークショー ・大林宣彦トークショー&「この空の花～長岡花火物語」上映（240人） （大田区観光課・一般社団法人大田観光協会）	
	「富士山」描写実演	銭湯背景画絵師 丸山 清人氏	
	ステージイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・「大田のお土産100選」即売会 ・大田区「ゆるキャラ大集合」 他 	
21日	シネパラ蒲田 ～第5回蒲田映画祭～	映画上映&トークショー ・「女ざかり」上映（100人） ・TVF参加作品上映会（40人） （大田区観光課・一般社団法人大田観光協会）	
	ステージイベント	・蒲田女子高等学校生徒によるファッションショー 他	
両日	第6回蒲田映画祭 特別企画展示	大林宣彦監督作品資料展	

(イ) 第23回 高度技術・技能展 おおた工業フェア「熟練×革新」

会 期		出展者数	入場者数	商談件数
平成31年1月31日から2月1日 (2日間 開催)		109社(団体)	3,138人	2,423件
概 要	区内中小企業の取引促進・販売拡大及び情報交換・技術交流の推進を目的に開催。			
	企画展	既存のハードウェアの概念に捉われず、今後の社会にとって必要な新たな価値を提案する企業10社による「ものづくりベンチャー展」を2階小展示ホールで開催し、大田区が誇るものづくり企業との連携を図った。また、出展企業4社によるプレゼンテーションが特設ステージで行われた		
31日	表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・第30回 大田区中小企業新製品・新技術コンクール表彰式 ・平成30年度 大田区「優工場」表彰式 		
	講演	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「ものづくり企業の戦略発想とリーダーシップ」(聴講者157人) 講師：長野県立大学グローバルマネジメント学部/学部長教授 森本 博行 氏 		
	併催	<ul style="list-style-type: none"> ・「優工場」認定工場 褒賞パネル展示(1月31日から2月1日) ・大田区中小企業新製品・新技術コンクール 受賞企業プレゼンテーション(1月31日) 		
1日	講演	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演 「人工知能と脳科学」(聴講者229人) 講師：武蔵野学院大学 教授 澤口 俊之 氏 		
	セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ① シンギュラリティと『AI×ロボット最前線』 講師：ロボスタ編集ジャーナリスト 神崎 洋治 氏 ② 「これからの自動車技術(自動運転)」 講師：日本ナレッジ・マネジメント学会 副理事長 山崎 秀夫 氏 ③ 「金属3Dプリンタの最新活用技術」 講師：株式会社ソディック 営業本部 営業推進部 部長 澤崎 隆 氏 ④ 「半導体の新技術と市場トレンド」 講師：一般社団法人半導体産業人協会 市山 壽雄 氏 		
	出展者 プレゼン	<ul style="list-style-type: none"> ① ハタプロ・ロボティクス株式会社「どこでも働ける店番AIロボット ZUKKU(ズック)」 ② 株式会社 Xenoma 「人の常時計測を可能にする、次世代スマートアパレル e-skin」 ③ 株式会社メディカルスイッチ 「アイディアから量産化までの軌跡」 ④ 株式会社 Piezo Sonic 「新開発した超音波モータとその活用方法」 		

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 (補助) 4,961,000円 (自主) 90,000円 (合計) 5,051,000円】

【決算額 (補助) 2,666,344円 (自主) 89,898円 (合計) 2,756,242円】

(ア) 相談業務(商業)

専門相談員(あきない活性化コーディネーター)による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	182件
------	------

(イ) フード展示商談会

実施日	内容	参加者	成果
平成30年 7月17日	商談会事前セミナー 会場:大田区産業プラザ 交流サロン 講師:食のショールーム・パルズ 代表 山崎 友香 氏	19社	満足度 (アンケート) 96.1%

平成 30 年 8 月 28 日	第 5 回フード展示商談会 in 大田 ①出展者（売り手側） 29 社（区内 24 社、区外 5 社） ②来場者（買い手側） 148 名（区内 59 名、区外 89 名） 会場：大田区産業プラザ コンベンションホール	左記の とおり	商談創出 件数 226 件
---------------------	---	------------	---------------------

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業 【定款第 4 条（4）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・昨年度から配信を開始した区内中小企業で働くことの魅力を発信する P R サイト「おおたシゴト未来図」は、新たに 9 社を掲載し、若手社員が活躍する区内中小企業の事例を紹介した。
- ・超売り手市場ともいわれる中、区内中小企業の人材確保に資するため、大学等と連携して面談会を実施した。横浜商科大学、工学院大学、日本工学院専門学校で実施し、内定実績を得た。
- ・中小企業の若手技術者育成のため実施する都立産業技術高等専門学校の基礎講座は、参加者の多くを大田区企業の社員が占める結果となった。

① おしごとナビ大田区

【予算額（補助） 1,466,000 円（自主） 1,798,000 円（合計） 3,264,000 円】

【決算額（補助） 781,200 円（自主） 3,617,089 円（合計） 4,398,289 円】

（ア）求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

対象・内容	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	136 社
新規登録企業件数	25 件

（イ）企業取材と地域情報の配信

対象・内容	掲載社数・更新数等
企業 P R の取材	2 回
コラム（大田区そぞろ歩き）の更新	2 回

（ウ）民間広告媒体を活用した P R

民間企業広告活用件数	内容
1 件	京浜急行線ドアステッカー掲出（京急電鉄）

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額（補助） 1,205,000 円（自主） 100,000 円（合計） 1,305,000 円】

【決算額（補助） 855,106 円（自主） 50,000 円（合計） 905,106 円】

（ア）都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校（高専）の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

	科目	単位 2時間/1回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)	
基礎講座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15回	9月3日から10月11日	20(13)人
		工業材料の基礎	8回	10月15日から11月6日	12(7)人
		加工と測定の基礎	8回	11月12日から11月30日	12(7)人
		デジタルマニュファクチャリング体験講座	6回	12月4日から12月20日	10(4)人
	電 気	電気回路の基礎	10回	9月26日から10月25日	16(9)人
		シーケンス制御の基礎	10回	10月31日から11月28日	12(10)人
出前講座 (大田区)	図面の見方に関する講義 (株式会社シンシ)	4回	10月16日から11月1日	4人	
	はんだごての講義及び実技 (株式会社アイシーテクノ)	1回	11月15日	8人	

(イ) デザインプロジェクト

開催日	テーマ及び講師	参加者数
ワークショップ 平成30年9月19日	「デザインシンキングで新しいものづくりへ」 講師：東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 准教授 森本 千佳子 氏	15人
出前講座 平成31年3月19日	出前先：テック大洋工業株式会社 講師：東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 准教授 森本 千佳子 氏	6人

(ウ) おおた少年少女発明クラブの運営支援

活動期間	会場	テーマ	参加人数
平成30年4月28日 から 平成31年3月2日 (21回)	大田区産学連携 施設(多目的室)	「プチロボ」製作及び競技会 「おどるマルメロちゃん」製作 「変身マルメロちゃん」製作 「電気回路基礎(LED、スイッチの取り付け)」 「ピカピカツリー」製作及び発表会 「キュートロボ」製作及び競技会	44人

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 (補助) 2,384,000円】 【決算額 (補助) 2,142,298円】

(ア) 区内企業と若者のマッチングのための情報発信ツール

(おおたシゴト未来図)

企業数・満足度	掲載企業数 16社 (平成31年度新規 9社) 新規企業満足度 (アンケート) 93.3%
---------	---

(イ) 大学等と連携した面接会の実施

実施項目	参加者等
平成30年4月18日、19日 「日本工学院専門学校 春季合同企業説明会」	参加企業 5社 (全260社中) 参加学生 37人 (全3,010人中) 結果 内定1社1人 (満足度100%)
平成30年5月30日 「日本工学院専門学校 大田区近隣合同企業説明会」	参加企業 5社 (全30社中) 参加学生 3人 (全86人中) 結果 内定0人 (満足度80%)

平成 30 年 10 月 17 日 「日本工学院専門学校 秋季合同企業説明会」	参加企業 参加学生 結果	3 社（全 104 社中） 41 人（全 500 人中） 内定 1 社 1 人（満足度 100%）
平成 30 年 11 月 15 日 「横浜商科大学 学内企業説明会」	参加企業 参加学生 結果	4 社（全 18 社中） 7 人 内定 1 社 1 人（満足度 75%）
平成 31 年 2 月 25 日 「工学院大学 大田区ものづくり企業ミニ面接会」	参加企業 参加学生 結果	4 社 3 人 内定 1 社 2 人（満足度 100%）

④ 内職あっせん・相談事業

【予算額（補助）5,855,000 円】 【決算額（補助）4,540,551 円】

(ア) あっせん相談

内 容	回数等
あっせん・相談状況	<別表C>
出張相談事業 ハローワーク大森 職業相談部門（1 階）内に専用ブースを借り、内職相談者と面談（若い主婦層の求職者獲得のためマザーズコーナーとも連携） 毎月第 4 火曜日 時間：9 時 30 分から 11 時 30 分	12 回

(イ) 求人開拓

求人企業への企業訪問	延 37 社
------------	--------

(ウ) 普及・啓発用印刷物の作成

項 目	内 容	回数等
普及・啓発用印刷物 （内職求人開拓用印刷物の作成・配布）	蒲田・大森法人会会報封入用	約 5,200 枚
	大田区商店街連合会新聞封入用	約 6,500 枚
	商業情報誌 あき now Vol. 12 封入用	約 7,000 枚
普及・啓発用記事 （内職求人開拓用記事の作成・掲載）	東京都中小企業振興公社 ビジネスサポート Tokyo に掲載	1 回
普及・啓発用印刷物 （内職求職者用印刷物の作成・配布）	区内図書館（17 か所）ポスター掲示・チラシ設置	約 500 枚
	区内地域庁舎 地域健康課にチラシ設置	約 150 枚
	区役所子育て支援課（区内児童館 45 か所を含む）・ 保育サービス課にチラシ設置	約 1,500 枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置 大田文化の森・子ども家庭支援センターにチラシ設置	約 400 枚 約 200 枚
普及・啓発用記事 （内職求職者用記事の作成・掲載）	大田区社会福祉協議会 大田社協だより 12 月号に掲載	1 回

5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

【定款第 4 条（5）関係】

〔重点取り組み事項〕

・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成では、採択テーマが医療・福祉・新素材分野など多岐にわたり、開発内容もより高度化している。本事業を通して、次世代産業での製品開発にチャレンジする区内中小企業が増えている動向が伺える。

・新製品・新技術コンクールでは、有望なアイデア 9 件を輩出した。最優秀賞は環境配慮型「オール樹脂製鉗子」である。医師の要望に合わせた微調整が可能であり、施術中のストレスをできる限り低減する工夫が随所にみられる製品となっている。本事業では、ヘルスケア分野案件が増加傾向にある。

・新事業連携・新産業クラスター形成助成は、医療関連検査装置、農業関連機器、スポーツ器具、福祉機器開発等 11 案件が採択された。国内にとどまらず、海外の市場化を見据えた積極的な案件も申請されており、今後さらに企業や大学等研究機関との連携による研究開発が活性化していくことが期待できる。

・次世代産業創造のため、ライフイノベーション分野で初めて看工連携を開始して、誤えん防止用ストロー等の具体的な製品開発につながっている。このほか、東京工業大学との連携による新産業・技術に関するセミナーを技術交流会（2 回）と合わせて 6 回開催した。

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額（補助）75,092,000 円（自主）6,000 円（合計）75,098,000 円】

【決算額（補助）68,185,445 円（自主）4,789 円（合計）68,190,234 円】

（ア）開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

開発ステップアップ助成	助成 5 社（申込件数 12 社）
企業名	事業テーマ
株式会社 岩間工業所	大腿骨コンポーネント研磨技術の確立
インフイテックエム株式会社	短時間に非破壊で計測可能とする磁気ノイズ法による応力計測センサの開発
有限会社 エムティ プレジジョン	軌道中心間隔自動測定装置の試作
株式会社 信明産業	環境激変対応・建設土木用ゴムの開発
株式会社 RESVO	尿検査による心理的ストレス検査キット
実用化製品化助成	助成 10 社（申込件数 16 社）
企業名	事業テーマ
株式会社 アイ・ティ・エンジニアリング	I o T センサー端末によるタイル検査システムの開発
株式会社 ACTY Power	外反母趾手術治療用インプラント、手術ツールの開発
株式会社 アシスト	プロジェクションマッピングによるインタラクティブ透過パネルサイネージ
イービーエム株式会社	低侵襲血管外科手術訓練用統合シュミレーションシステムの開発
株式会社 エステク・サービス	刃物回転式旋盤を用いた高効率量産切削技術開発
大川三基株式会社	大気中での拡散接合装置の開発
株式会社 カラーズ	直進軽快車いす商品化プロジェクト

株式会社 クラフトワークス	大型風力発電機ブレードの点検ロボットの量産化試作
株式会社 コニスス研究所	新型真空管 Nutube を使った録音用コンプレッサーの実用化製品化
株式会社 ビートセンシング	散剤調剤用自転公転装置の製品化

(イ) 大田区中小企業新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 16 件)
賞名	受賞企業	製品・技術名
最優秀賞	日進工業株式会社	環境配慮型「オール樹脂製鉗子」
優秀賞	トキ・コーポレーション株式会社	デュアル調光機能を有する超小型LEDスポットライト「マイクロライトキャノン」
	株式会社 メディカルスイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」
おおた福祉・医療賞	株式会社 東京商工社	ポータブルお茶ミル「Sururu [するる]」
おおた秀逸技能賞	株式会社 西尾硝子鏡工業所	ハーフミラーを活用した内照式ショーケース
おおたネットワーク賞	アベテクノシステム株式会社	足関節リハビリ支援装置 「AMS-28」
おおたチャレンジ賞	株式会社 RESVO	血液サンプルを用いた免疫障害性統合失調症/自閉症検査キット
奨励賞	インパクトワールド株式会社	喫煙室用空気清浄機
	菱熱工業株式会社	衛生チェックアプリ「コロコロチェッカー」

② 新事業連携・産業クラスター形成助成

【予算額 (補助)4,689,000 円 (自主)85,000 円 (合計)4,774,000 円】

【決算額 (補助)3,925,615 円 (自主)83,241 円 (合計)4,008,856 円】

新事業連携・新産業クラスター形成助成		助成 11 社 (申込件数 14 社)
企業・グループ名	テーマ名	
①株式会社 アシスト	空中ディスプレイシステムによるCGキャラクターのライブアクション投影	
②イノスプランニング株式会社	世界最薄のキャストアイアン商品研究開発と市場調査	
③インフィテックエム株式会社	多用途に適応する荷重検出センサの開発・商品化	
④暮らしと家の研究所	地域事業者ネットワークによる共創力強化による連携事業の創出(案)	
⑤株式会社 The MOT Company	ハニカムパネルのプレス成形技術の開発	
⑥サンケイエンジニアリング有限会社	次世代エンジニア育成手法の模索	
⑦テック大洋工業株式会社	アフリカ産米の石粒混入問題を解消する膨化米製造機の開発	

⑧鳴島工業株式会社	新設工場設立稼働に伴うエレベータ用大型高速ガイドレールの拡販
⑨株式会社 日潤	固体潤滑剤(WS2)の性能向上商品の開発と韓国市場への拡販
⑩株式会社 農援隊	野菜の養液栽培における培土敷設機器の開発
⑪BIO PROJECT	オーガニック調味料製品及び天然素材のソープに関するの展開事業

(イ)大田区異業種交流グループ連絡会への参加

理事会参加	年3回
ものづくり祭おた打ち合わせ参加	年2回

③ 産学連携研究開発支援事業

【予算額 (自主)3,373,000円】 【決算額 (自主)2,452,679円】

区内での産学連携による製品開発等を促進するため、産学連携研究開発支援施設(オオタイノベーション・ラボ)を研究開発に取り組む企業に貸与した。入居者支援についてはコーディネーターによる産学連携サポート支援を実施した。

④ 次世代産業創造事業

【予算額 (補助)34,963,000円 (自主)5,012,000円 (合計)39,975,000円】

【決算額 (補助)29,867,294円 (自主)4,448,840円 (合計)34,316,134円】

(ア) 区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業をWebサイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進する。	142社
大田区研究開発型企业ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布	2,800部
大学や企業研究機関からの技術相談	Webサイトからの問い合わせ案件数	34件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業PR	4展示会(下記(オ))
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報を配信	24回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を発信	20回

(イ)産学公相談

(a)産学連携コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学公交流相談(内、医工連携相談)	482件 (153件)

(ウ) 次世代産業分野のセミナーの開催

(a) 東京工業大学技術交流セミナー

過去 94 回開催のセミナー実績を踏まえ東工大との産学連携・技術交流の一層の強化を図るとともに、技術革新に繋がる効果的なセミナー・研究会を開催している。

開催日		テーマ及び講師	参加者数
第 95 回	平成 30 年 6 月 28 日	「細胞デバイスと生化学反応を利用したマイクロマシン」 東京工業大学 未来産業技術研究所 教授 柳田 保子 氏	25人 (22人)
第 96 回	平成 30 年 8 月 2 日	「ダイヤモンドの可能性を追求したセンサデバイス開発」 東京工業大学 工学院 電気電子系 准教授 岩崎 孝之 氏	24人 (17人)
第 97 回	平成 30 年 9 月 20 日	「熱流動現象としてプラスチック成型加工を読み解く」 東京工業大学 工学院 機械系 准教授 齊藤 卓志 氏	9人 (8人)
第 98 回	平成 30 年 10 月 26 日 (研究開発フェア内で開催)	「生物の羽ばたき飛翔と遊泳のソフトロボット応用」 東京工業大学 工学院 機械系 准教授 田中 博人 氏	45人 (19人)
技術 交流会	平成 30 年 11 月 22 日 平成 30 年 12 月 6 日	技術交流会「光で洗う・削る・くっつける」 東京工業大学 工学院 機械系 准教授 山本 貴富喜 氏	11人 (11人)

(c) 新分野進出セミナー

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
平成 30 年 6 月 4 日	AI セミナー 「まずは実践ハンズオン！ディープラーニングで手書き文字認識してみよう！」 講師：株式会社アイデミー 代表取締役 石川 聡彦 氏	26人 (26人)
平成 30 年 8 月 27 日	ブロックチェーンセミナー 「注目技術！ブロックチェーンを学ぼう！～入門編～」 講師：GMOメディア株式会社 事業推進室 室長 今井 裕史 氏	9人 (6人)
平成 30 年 11 月 7 日	クラウドファンディングセミナー 「クラウドファンディングで成功する方法」 講師：株式会社ワンモア GREEN FUNDING by T-site 代表取締役 CEO 沼田 健彦 氏	21人 (11人)
平成 31 年 2 月 19 日	プロテオミクスセミナー 「AI プロテオミクスによる新産業創出が拓く未来型健康管理社会」 講師：東京工業大学 生命理工学院 准教授 林 亘宏 氏	11人 (8人)

(d) 医工連携セミナー

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
平成 30 年 10 月 25 日 (研究開発フェア内で 開催)	「シーズ起点の開発事例」 ～医療データを用いた市場分析の活用～ 神戸大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 加藤 博史 氏	45人 (22人)
平成 31 年 3 月 28 日 (同日ワークショップを 合わせて開催)	「下町からメディカル分野への挑戦」 ～製品化と出口戦略の可能性～ 富士通株式会社 井上 拓也 氏 株式会社東京ワイヤー製作所 山田 竜義 氏、 吉田 篤 氏	15人 (13人)

(エ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	来場者数、参加企業数、商談件数等
第8回 おおた研究・開発フェア 平成30年10月25日 から26日	出展者数：92団体（92コマ） 来場者数：1,565人 商談件数：5,790件（うち、可能性の高い商談件数 569件）
特別講演① 平成30年10月25日	テーマ：南鳥島周辺の排他的経済水域内に分布する新資源 「レアアース泥」の実開発に向けた取り組みと今後の展望 講師：東京大学大学院工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター センター長・教授 加藤 泰浩 氏 会場：4階コンベンションホール 聴講者：147人
特別講演② 平成30年10月26日	テーマ：量産化が進むAM/3Dプリント事例と導入の課題 講師：EOS Electro Optical Systems Japan 株式会社 高島 一馬 氏 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ 竹内 典子 氏 会場：4階コンベンションホール 聴講者：228人
医工連携セミナー 平成30年10月25日	テーマ：シーズ起点の開発事例 ～医療データを用いた市場分析の活用～ 講師：神戸大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 加藤 博史 氏 会場：6階C会議室 聴講者：45人
第98回 東京工業大学技術 セミナー	テーマ：生物の羽ばたき飛翔と遊泳のソフトロボット応用 講師：東京工業大学 工学院 機械系 准教授 田中 博人 氏 会場：6階C会議室 聴講者：45人

(オ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成果
国際モダンホスピタルショウ2018	平成30年7月11日から13日 東京ビッグサイト	相談件数 20件 可能性高 2件
応用物理学会 秋季学術講演会展示会 JSAP EXPO 2018	平成30年9月18日から21日 名古屋国際会議場	相談件数 28件 可能性高 3件
国際ナノテクノロジー総合展・技術 会議	平成31年1月30日から2月1日 東京ビッグサイト	相談件数 4件 可能性高 0件
応用物理学会 春季学術講演会展示会 JSAP EXPO 2019	平成31年3月9日から12日 東京工業大学 大岡山キャンパス	相談件数 8件 可能性高 2件

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第4条（6）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・事業所単位での加入勧奨活動として、区内私立保育園長会で加入促進活動を行い、1園あたり20数名規模で数園の加入を実現し、会員数の増加につなげた。
- ・福利厚生事業では、会員からの要望が多かった納涼船を復活させたり、人気が高いディズニーパスポートの扱い件数を増やすなど、費用対効果に充分留意しながら、会員のニーズに応えた。

① 加入促進事業

【予算額（補助）4,065,000円（自主）7,116,000円（合計）11,181,000円】

【決算額（補助）3,242,366円（自主）5,622,981円（合計）8,865,347円】

(ア) 勤労者共済事業の周知

大田区勤労共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

発行回数	発行部数
年 10 回	各号 4,750 部

(イ) 会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問・加入促進キャンペーンを継続実施中。

共済会員入会推移

	平成 28 年 3 月末 (平成 27 年度)	平成 29 年 3 月末 (平成 28 年度)	平成 30 年 3 月末 (平成 29 年度)	平成 31 年 3 月末 (平成 30 年度)
事業所 (社) (前年度対比)	1,670 (+11)	1,655 (-15)	1,617 (-38)	1,581 (-36)
会 員 (人) (前年度対比)	4,488 (+138)	4,478 (-10)	4,539 (+61)	4,457 (-82)

② 福利厚生事業

【予算額 (自主) 37,872,000 円】 【決算額 (自主) 35,435,021 円】

(ア) 健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った。

人間ドック・ミニドック	利用補助	66 件
インフルエンザ予防接種	〃	331 件
総合体育館スポーツ教室	〃	1 件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,444 セット
区営プール利用券	〃	743 枚
区営スポーツセンター	〃	19 セット

(イ) レクリエーション事業

旅行会社 2 社による幅広い選択肢を用意した日帰りバスツアーの利用補助を年 6 回実施。

既成バスツアー自由参加補助	226 枚
---------------	-------

(ウ) 宿泊施設の利用

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計 6 泊まで 1 泊につき 2,000 円の補助を実施。

ライフサポート倶楽部宿泊補助	340 件
----------------	-------

(エ) 契約施設の利用

他区 9 つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、季節のレジャーやゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、区内商店を中心に会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	2,677 枚	潮干狩り	17 枚
東京ディズニーリゾート	1,914 枚	カルチャー教室	0 件
釣り船	28 枚	天然温泉平和島	243 枚
ゴルフ場	42 枚	文化振興協会	84 枚

(オ) 各種チケット割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲に加え、大田区総合体育館で行われる相撲のチケットもあっせんした。

映画鑑賞チケット	4,849 枚	大相撲観戦チケット	24 枚
サマーナイトクルーズ	102 枚	スポーツ観戦チケット	175 枚
東京ドームシティ得10チケット	53 枚	美術展チケット	1,044 枚
図書カード	390 枚	東武動物公園ハッピーフリーパス	250 枚
食事券	1,424 枚	おふろの王様	140 枚
鑑賞券（演劇・音楽等）	411 枚	ハワイアンズ	110 枚

③ 給付事業

【予算額（自主）10,791,000円】 【決算額（自主）8,506,500円】

(ア) 共済会員に対する「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝金	392件	計 524件
見舞金	49件	
弔慰金	83件	

(イ) 継続会員記念品（5年継続、10年毎継続）の贈呈

5年継続	244件	計 495件
10年継続	37件	
20年継続	54件	
30年継続	160件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業【定款第4条（7）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・大田区産業プラザの指定管理者として、利用者の安全を最優先するための危機管理体制を強化しつつ、効率的な施設の管理運営に努め、修繕工事等も適切に実施した。また、MICE推進活動や住民参加型イベントの実施等により集客力向上と、区内産業振興や地域貢献に寄与した。
- ・創業支援施設等の管理では、入居企業の開発目的や支援状況について、区と共有し、入居目的の達成及び区内での立地・創業が継続されるための支援体制を強化した。
- ・区内中小企業支援に係る大田区からの受託事業では、羽田空港跡地第1ゾーンの開発で展開される先端産業分野である6事業プロジェクトをテーマ決定した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、競技用車いす3台と関連部品を6台分完成させた。
- ・第2次補正で区から事業を受託することを決定した「受発注主体構築等検証調査に係る業務」では、次年度での事業展開につながる検証業務を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額（利用料金）230,625,000円】 【決算額（利用料金）208,149,809円】

- ・産業プラザ施設利用状況： <別表A>
- ・施設利用収入状況： <別表B>

快適で対応力のある施設を目指し顧客満足度を向上させるため、産業プラザウェブサイトの英語対応、利用案内の改訂、館内施設（駐車場、C、E、F、G会議室）のLED化、シャワートイレの改修などの改善を図った。MICE活動を推進し区内産業振興の拠点となるよう、大規模催事主催者にパンフレットを配布するなど、施設利用のPRを実施した。また、地域に親しまれる施設となることを目指し、平成29年度に実施した住民参加型の親子ヨガ体験会を継続実施した。

初めての取り組みとして、実際の貸施設運営に近い状況下での地域参加型避難（誘導）訓練を実施し、参加者の防災意識及び防災センターをはじめとする館内職員の危機管理能力の向上を図った。また、大田区産業プラザは帰宅困難者の一時滞在施設として指定されていることから、「一時滞在施設運営マニュアル」を作成するとともに、災害への備えとして、階段避難車、車輪付き担架（らくらく担架）、非常用トイレ袋などの備蓄品を購入した。

② 創業支援施設等の管理運営

【予算額（受託）28,754,000円】 【決算額（受託）24,779,036円】

区の指定管理者として施設の管理運営を行うとともに、入居企業が自立した企業活動を営めるよう創業相談員等による指導、支援を実施した。

施設名	入居者・退去者数等（平成30年度末）	その他
創業支援施設	使用開始: 0件・退出: 12件・3月末入居企業数 13件（シェアードオフィス含む）	創業相談員が助言・指導 使用者向け勉強会開催: 3回
新産業創造支援施設	3月末入居企業数 2件	次世代産業創造コーディネーターが助言・指導
産学連携施設	退出: 4件・3月末入居企業数 7件（スモールオフィス含む）	

③ 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額（自主）4,900,000円】 【決算額（自主）3,883,642円】

施設利用者の利便性を高め、利用率の向上に資するため、イベントサポートガイドPiO倶楽部及びPiO周辺マップの発行、サイン看板等作成サービス、利用者用コピーサービス、催事ごみ処理サービス、トランシーバー貸出、特殊簡易公衆電話、公衆型充電器等のサービスを実施した。

④ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額（受託）68,749,000円】 【決算額（受託）55,473,199円】

竣工後20年以上を経過し、老朽化による故障が頻発している。協会では、受託業務の範囲ででき得る維持補修工事を実施したほか、区が長期修繕計画に基づき実施した工事に際し、利用者や関係団体及び工事業者の調整等の協力を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
・広場ブロック塀補強工事	・コンデンサ盤内部品交換
・照明器具LED化工事（駐車場）	・中央監視設備UPS交換工事
・冷温水機溶液ポンプ交換	・温水二次側ポンプ修理 等 72件

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事

工事名	
・熱源機器改修工事	・自動火災報知設備更新工事

⑤ 戦略的産業クラスター形成パイロット事業

【予算額 (受託) 90,000,000 円】 【決算額 (受託) 80,432,887 円】

(ア) 次世代産業分野クラスター形成事業

本事業は、大田区全域の地域産業競争力を強化するとともに、羽田空港跡地開発との有機的な連携の中で、国内外からの受注獲得、イノベーション創出、人材育成・確保に資することを目的とする区からの受託事業である。羽田空港跡地第1ゾーンの開発で展開される先端産業分野である「次世代モビリティ（EV、自動走行など）」、「ライフサイエンス・ヘルスケア」、「ロボティクス」、「関連分野（デジタルコミュニティの形成など）」において、参画企業を募り、企業と協働する形で実施した。公募により次の6事業プロジェクトをテーマとして決定。区内外含めて全65企業・大学等が携わり、うち区内企業・大学33社が参画した。各事業プロジェクトで開発したプロトタイプは、第23回おおた工業フェア内にて発表を行った。

	事業分野	クラスター名	テーマ名
①	次世代モビリティ分野	次世代モビリティクラスター	小型自律走行移動体の開発
②	ライフサイエンス・ヘルスケア分野	医工連携クラスター	眼科手術機器及びシミュレーターの開発
③			細胞培養装置のマルチウエル化事業
④			高齢者等の在宅服薬者支援装置の開発
⑤	ロボティクス分野	コミュニケーションロボットクラスター	多言語対応スマートロボットの開発
⑥	関連分野（デジタルコミュニティ形成など）	デジタル技術クラスター	テイラーメイドサーバー事業のプロトタイプ開発（ビッグデータ活用を含む）

(イ) 障がい者スポーツ用具の開発

大田区が東京都の補助事業「地域連携型障がい者スポーツ用具開発促進事業」の採択を受け、当該業務がものづくりクラスター形成のモデル事業と成り得ることから当協会に委託された。各競技用車いすにおけるの軽量化や操作機能性の向上を目標に掲げ、都内に事業者がある車いすメーカー(株)松永製作所(本社：岐阜県養老郡)を核に、区内中小企業群(13社)の高度な技術の融合により、CFRP(炭素繊維強化樹脂)素材による競技用車いす3台と関連部品を6台分完成させた。

⑥ 受発注主体構築等検証調査に係る業務

【予算額 (受託) 37,800,000 円】 【決算額 (受託) 35,386,925 円】

「AIを活用した大田区版受発注促進マッチングシステムの開発」に関する検証として、

- ①区内事業者の保有技術の徹底した洗い出しのためのサンプリング調査
- ②発注企業側のニーズ等についてのヒアリング調査
- ③受発注プラットフォーム基本構造の設計、AI技術等と連携したCMSによるデモサイトの提案
- ④受発注プラットフォーム構築に際して検証すべき先端技術の例示と検証
- ⑤区内事業者が国内外の潜在案件発掘のためのデジタルマーケティング手法の例示と検証

等を行った。また、「受発注主体の構築等」に関する検証として、

- ①受発注主体の構築等の可能性の検証
- ②民間受発注組織との連携可能性の検証
- ③協会受注機能活用・強化の可能性と今後のあり方の検証と提言

等を行い、大田区に報告書を提出した。

平成 30 年度 産業プラザ施設利用状況 <別表 A>

(1) 展示ホール

施設名	前半 (5時間) 9:00~14:00		後半 (5時間) 14:00~19:00		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		
大展示ホール	347	274	347	289	291,848
	79.0%		83.3%		
小展示ホール	347	247	347	279	116,974
	71.2%		80.4%		
合 計					408,822

(2) コンベンションホール・会議室他

施設名	午前		午後		夜間		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		利用率		
コンベンションホール	347	272	347	303	347	265	188,191
	78.4%		87.3%		76.4%		
A会議室	347	321	347	321	347	244	24,399
	92.5%		92.5%		70.3%		
B会議室	347	316	347	320	347	224	25,557
	91.1%		92.2%		64.6%		
C会議室	347	280	347	301	347	196	24,585
	80.7%		86.7%		56.5%		
D会議室	347	297	347	303	347	196	30,867
	85.6%		87.3%		56.5%		
E会議室	347	309	347	315	347	212	12,760
	89.0%		90.8%		61.1%		
F会議室	347	309	347	318	347	270	11,522
	89.0%		91.6%		77.8%		
G会議室	347	310	347	318	347	235	11,515
	89.3%		91.6%		67.7%		
特別会議室	347	246	347	304	347	166	41,128
	70.9%		87.6%		47.8%		
和室	347	272	347	282	347	213	13,710
	78.4%		81.3%		61.4%		
合 計							384,359

施設利用収入状況 <別表 B>

利用料金収入	281,877,329円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料： 183,371,247円 ・前年度収納分： 89,954,682円 ・駐車場利用料： 8,551,400円

内職あっせん・相談事業 <別表C>

	求職状況			求人状況		あっせん状況	
	新規人数	再来人数	計	事業所数	人数	事業所数	人数
30年4月	44	4	48	21	25	35	36
5月	65	7	72	20	27	30	32
6月	29	8	37	22	45	37	43
7月	29	1	30	22	21	28	31
8月	31	1	32	13	22	17	18
9月	49	8	57	15	22	23	25
10月	40	2	42	15	30	23	28
11月	25	3	28	18	27	24	28
12月	27	3	30	13	22	21	26
31年1月	29	6	35	16	25	28	32
2月	46	5	51	23	25	29	34
3月	41	2	43	28	42	38	44
合計	455	50	505	226	343	333	377

◆ **理事会・評議員会**

● **理事会**

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第1回	平成30年5月11日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告の承認について 平成29年度決算の承認について 平成30年度補正予算について 基本財産の運用について 定時評議員会の開催について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第2回	平成30年11月5日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 基本財産の運用について 平成30年度事業計画の変更及び平成30年度第2次補正予算について 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第3回	平成31年3月26日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度第3次補正予算について 平成31(2019)年度事業計画について 平成31(2019)年度収支予算・資金調達及び設備投資の見込みについて 公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 就業規則、非常勤職員規程、契約職員規程、就業規則第11条第3項の規定により採用された短時間勤務職員規程、職員の退職手当に関する規程 評議員選定委員外部委員の選任について

公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会は次のとおり

である。

第1回	決議のあった日 平成30年5月31日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事である理事長の選定について 業務執行理事である専務理事の選定について
-----	---	---

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第18条第1項に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、各々承認を得た。

定時 評議員会	平成30年5月28日 出席評議員 5名 欠席評議員 2名 同席監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> 役員の選任について 平成29年度事業報告の承認について 平成29年度決算の承認について
------------	---	---

公益財団法人大田区産業振興協会定款第21条に基づき、決議を行った評議員会は次のとおりである。

第1回	決議のあった日 平成30年4月20日 同意した評議員 7名	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任について 監事の選任について
-----	-------------------------------------	--

●評議員選定委員会

第1回	平成30年4月6日 出席委員 5名 欠席委員 0名	評議員の選任
第2回	平成30年5月28日 出席委員 4名 欠席委員 1名	評議員の選任

◆協会組織強化

協会内研修

	開催日	対象者	目的	参加人数
新任研修	①② 4月 2、3、4日 ③ 5月29日	①協会全職員 ②③新任職員等	①理事長講話 ②協会の基礎知識、会計、契約、文書、サービス、規程、セキュリティ等について学ぶ。 ③区内中小企業等の施設見学を行い区内産業の現状を学ぶ。	①40人 ②17人 ③17人
新任主任主事研修	12月20日	新任主任職員	外部研修と合わせ、協会の現状等を踏まえ、管理職による主任主事へ期待する役割、意識を高める。	2人
セキュリティ研修	① 4月2日 ② 11月30日	① 新任職員 ② 協会全職員	協会内の情報セキュリティ対策実施手順を徹底させ、協会職員の情報管理の意識を高める。	① 10人 ② 32人
「ドイツ、フランスの先端産業の動きに関する調査研究報告会について」	2月27日	協会全職員	区より講師を招き、羽田空港跡地の動向と今後の区と協会の連携等について学ぶ。	27人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。

